



今年もおひな様の展示から始まり、夏休み中の小学生向けクイズラリー、そして企画展やパネル展と、あっという間に一年が過ぎてしまいました。今年も多く皆さまにご来館いただきましたが、「また来たい」と思っていただけるような展示や事業となるように、来年度事業に向けて準備を始めています。

最新 令和5年度企画展
いせさき
発掘 伊勢崎駅周辺の
発掘調査

1階で
開催中

喜多町遺跡の前方後方形周溝墓



喜多町遺跡の周溝墓から出土した土器

喜多町遺跡のこれまでの発掘調査では、古墳時代前期を主体とした住居跡が100軒に及び集落域と、その西側の谷で稲作が行われていたことが推定されています。また出土した土器は、北陸・南関東・東海・畿内・山陰・南東北から搬入された外来系土器が多いことが指摘され、古墳時代前期の広域にわたる人々の動きを示しています。

西側の集落・生産域に対し東側の4・5次調査では、前方後方形周溝墓をはじめとする周溝墓5基の存在が確認され、遺跡東側は墓域が展開していたことが明らかとなりました。最も規模の大きい前方後方形周溝墓は、後方に盛土の一部が残存する全長25m以上の墳墓で、周溝墓の中では最大クラスに位置付けられます。埋葬主体部は確認されていませんが、この被葬者は集落の首長クラスであったと考えられます。こうした前方後方形周溝墓は県内で約30基確認され、市内では5例目の発見となりました。

12月24日（日）まで企画展とパネル展同時開催中

没後60年パネル展 明治の探検家

2階で
開催中

矢島保治郎

—伊勢崎からチベットへ—



明治41年に日本力行会に入会し、「日本力行会冒険倶楽部発開紀念」の巻紙を掲げる保治郎。保治郎の左は世界無銭旅行を支援し、日本力行会を創立した島貴兵太夫。

佐波郡殖蓮村（現伊勢崎市本関町）の矢島保治郎は、明治42年に一人で世界無銭旅行に横浜港から旅立ち、当時鎖国状態だったチベットに外国人として初めて中国から入った探検家です。矢島は、密入国が発覚しそうになり帰国しますが、再びチベットを目指した2度目の入国では、チベット仏教の最高指導者ダライラマ13世の信任を得て親衛隊長に就き、妻ノブラーと結婚して長男意志信を授かります。その後は家族3人で帰国し、前橋で暮らしました。

今年は矢島保治郎没後60年の節目を迎えます。常識に支配されず、突出した行動力で世界を渡り歩いた伊勢崎の快男矢島保治郎について、写真とパネルで紹介します。

伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館

休館日：月曜日（月曜日が祝日は翌日）・年末年始（12/28～1/4） 開館時間：午前9時～午後5時（入館は4時30分）

お問い合わせ 群馬県伊勢崎市西久保町二丁目98

電話 0270-63-0030

FAX0270-63-0087

E-mail : siryokan@city.isesaki.lg.jp

入館無料